

日本学術会議 法学委員会「新たな人権の研究」分科会 第4回会合 議事録

■ 日時：2025（令和7）年3月2日（日）14：00～16：30

■ 会議方式：オンライン（Zoom）

■ 出席者：川嶋、大久保、只野〔委員長〕、愛敬、相澤、大河内、木村、葛野、國分、齊藤、

榊原、笹倉、建石、中坂、糠塚、平山、松本、宮本、來田、小澤（敬称略、名簿順）

欠席者：小畑、三成賢次、南野、江島、鈴木、林、平田、三成美保（敬称略、名簿順）

議事録作成者：只野

■ 議事概要

1. 報告

小澤隆一委員

「人権問題は市民社会で（も）起きている－憲法学における『人権の私人間適用』論についての反省的考察」

小澤委員より、資料に基づき上記表題についての報告がなされた。

その後、報告に対する質疑応答及び意見交換が行われた。

2. 今後の分科会の運営について

今後の分科会の運営について意見交換を行った。その結果、「報告」のとりまとめを目指すこと、今後の分科会では、①総論（人権問題の位相）、②各論（人権問題の現況）、③立法による具体化・救済手段といった構成を念頭に、実務家も含めて報告者の選定を行っていくこと、が確認された。また、次回の分科会は7月ごろを目処に開催することとした。

3. その他

学術会議の改組問題について、意見交換を行った。